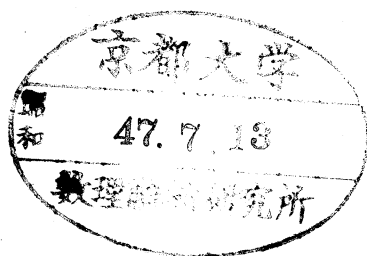


数理解析研究所講究録 151

短期共同研究

多重マルコフ性と予測理論への応用



京都大学数理解析研究所

1972年6月

短期共同研究

多重マルコフ性と予測理論への応用

報告集

1971年12月20日~25日

目次

1. 正規過程の多重マルコフ性に関する二つの話題 1
名大理 飛田 武幸
2. 多次元 parameter をもつ Brown 運動について 11
名大理 野田 明男
3. Germ field を知ったときの Predictor Operator 23
阪大理 岡部 靖憲
4. Random hyper function について 47
九大工 渡辺 寿夫
5. \mathbb{R}^d -径数の $Z (= \mathcal{L}_2(\Delta))$ の構造について (回転
不変の場合) 54
阪大理 小谷 真一
6. Markov 性をもつ多次元径数 Gaussian processes
について 68
信州大理 井上 和行

7.	多重マルコフ性の定義といくつかの例について	76
	阪大 理 河野 敬雄	
8.	Gaussian process の Markov 性の定義に関する 一つの注意	117
	名市大 教養 井原 俊輔	
9.	特殊な Markov 性をもつ Random field	123
	名大 理 久保 泉	
10.	確率常微分方程式の定常解についての見解	131
	東教大 理 丸山 儀四郎	
11.	Doob; Elementary Gaussian Processes について.	144
	神大 理 西尾 真喜子	
12.	Shift-commutative linear operators and random processes	159
	九大 教養 瀬口 常民	
13.	等質確率場に関する 2, 3 の話題	177
	島根大 文理 麻生 泰弘	